

# 点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

49

私は高校の頃、野球部員だった。ポジションはサード。軟式野球だったが、青春時代に白球を追いかけ、白球を打った記憶は鮮明に残っている。弱小チームだったが、野球はチームプレーなので、チームメイトと共に強豪チームにどのようになれば勝てるのか、一つの目標に向かって切磋琢磨したことを懐かしく思う。

さて、その後、野球をしていたかと言えば、そうではない。大学時代に少し野球サークルに入っていたほか、息子が少し大きくなってから、近くの公

## 野球部、ぐんまマラソン参加

タリークラブの野球部に誘ってもらったからだ。そこでの監督とのやりとり。私「野球部って、軟式なんですか、硬式なんですか」。監督「軟式だよ。ところで、野球やってたの？」。私「ええ、高校の時に」。監督「では、野球部入り、決まらだね」。

こうした短いやりと

園でキャッチボールをするぐらいだった。それが、群馬に来てから野球を再開したのだ。といっても、ロー

## スポーツで地域交流

りで野球部に入った。久しぶりにする野球。昔と比べたら、全く体が動かないものだ。でも、周囲の人は「以前やっていましたよね」と言ってくれるし、少しづつだが昔の動きを思い出すが、うれしい。けがをしないように注意しながらも、練習で汗を流すのが楽しい。その後の温泉と懇親会。これもさらに楽しい。

そして、マラソン。昨年11月3日に開催された「ぐんまマラソン」。

当店からは7人がランナーとして参加し、14人がボランティアに参加した。私は、当然のことながら、ボランティアだ。

ボランティアは、お恥ずかしながら、これまでやったことがなかった。当日、11・6時、他のボランティアが東日本大震災時に支給物をもろうために整然と並んでいたのを、海外のマスコミが称賛したことも思い出した。

このように、スポーツを通して、群馬県にお世話になっていきます。改めて御礼申し上げます。



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。